

成果の実用化に関するお願い
 (販売先・共同開発等のパートナーについて)

受付番号： H12 - 0564	主分類	建築・土木構 造・設計	副分類	エネルギー	
	課題名：新世代土木工事測量・支援システム				

(企業名) 株式会社コイシ

(企業の主要な事業内容)

1. 工事測量専門の会社である。(着工前測量・丁張掛け・出来形測量)
2. 商品販売 土木用計算機「丁張マン」
その他 鋸ネクタイ・DOROカップ
3. 開 発 3D・光ファイバジャイロ・PDAと実用化に向かっている。

(利用分野・用途)

1. 土木工事図面の設計ミスの早期発見(土木分野)
2. 土木工事のエネルギーロスの防止(土木分野)

(特徴)

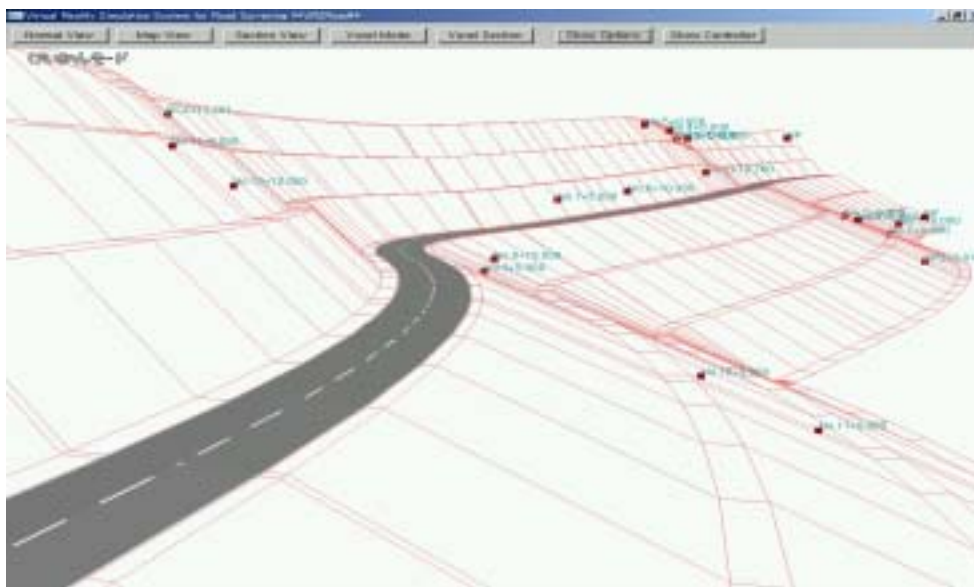
1. 今までの内業のデータ(エクセル)が3Dになる。
2. 実測値を入力するとズレが表示される。

(従来技術・競合技術)

従来、エクセルの計算数字X,Y,Zを一覧にし、プリントアウトして作業している。イメージの3Dはあると思うが、現場で作業する生の数字を3Dにするものはまだ市場にはない。

(要望事項)

土木工事の「手戻り」(測量ミス・丁張ミス・施工ミス)を見つける3Dソフトを開発しました。土木現場のセキュリティーとして活躍できるものと思います。販売に関するパートナーを探しています。



(新技術の概要)

土木工事の設計図面を3次元化し、G.P.S等の実測データと重ね合わせ、「立体空間管理」することにより、施工前でも施工中でも工事の完成予測を可能にする技術として、大分大学知能情報システム工学部でのバーチャルリアリティや拡張現実感(Augmented Reality)に関する研究成果と(株)コイシの「丁張マン」開発技術を基盤に土木工事測量・施工支援システムとして開発された。